



標準治療無効となった後のがん患者さんに 医学の進歩をどう還元するか ～ 治験 or BSC or 経験的薬物療法 ～

日時：平成29年8月19日(土) 13:00～17:00
会場：ヴィアーレ大阪 4F ヴィアーレホール

開会の挨拶 (13:00～13:10)

古河 洋 (清恵会病院/近畿大学医学部 上部消化管外科)

今回のテーマについて

田村孝雄 (近畿大学医学部奈良病院 腫瘍内科)

第I部 最新の治療～Precision Medicineについて～ (13:10-13:50)

座長：杉本直俊 (大阪国際がんセンター 腫瘍内科)

演者：川上尚人 (近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門)

共催 株式会社ヤクルト本社

第II部 どこまでエビデンスに沿った治療をするべきか (13:55-14:35)

座長：後藤昌弘 (大阪医科大学附属病院 化学療法センター)

演者：勝俣範之 (日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科)

共催 日本化薬株式会社

第III部 Narrative Approachの視点からBSCのタイミングを考える (14:40-15:20)

座長：加藤健志 (大阪医療センター 下部消化管外科)

演者：新城拓也 (しんじょう医院 院長)

休憩 (15:20～15:35)

第IV部 パネルセッション&総合討論 (15:35-16:55)

座長：今村博司 (市立豊中病院 上部消化管外科)

田村孝雄 (近畿大学医学部奈良病院 腫瘍内科)

[1] 看護師の立場から (20分)

西井智恵子

(近畿大学医学部附属病院 がんセンター緩和ケアセンター)

[2] がんサバイバーの立場から (20分)

山下弘子

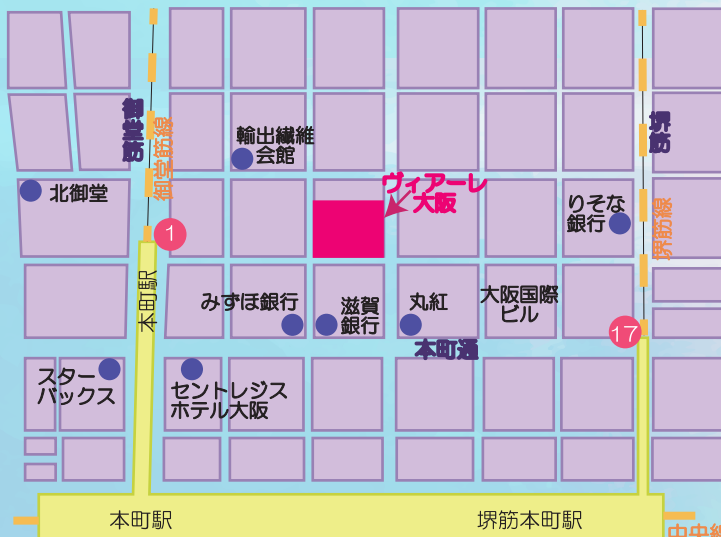
[3] 総合討論

パネリスト：本日の演者

閉会の挨拶 (16:55～17:00)

佐藤太郎 (大阪大学大学院 先進癌薬物療法開発学)

大阪消化管がん化学療法研究会 (OGSG)夏季セミナー 2017



お問い合わせ

大阪消化管がん化学療法研究会(OGSG)事務局

大阪府大阪市中央区森ノ宮中央1-14-2
鶴森ノ宮ビル2F南
Tel: 06-4790-7121, Fax: 06-4790-7122
Web: <http://www.ogsg.or.jp>

お申し込み方法

大阪消化管がん化学療法研究会まで
Faxにてご連絡ください。

会場へのアクセス

ヴィアーレ大阪 4Fヴィアーレホール
大阪市中央区安土町3-1-3
TEL: 06-4705-2411 (代表)
地下鉄御堂筋線「本町」駅1号出口から 徒歩3分
地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅17号出口から 徒歩5分

主催：特定非営利活動法人 臨床試験推進機構
大阪消化管がん化学療法研究会